



# 日本植物分類学会 ニュースレター

No. 91

Nov 2023

## 今号のトピックス

- 2023年度の講演会のお知らせがあります → 2 ページ
- 日本植物分類学会第 23 回大会のご案内があります → 4 ページ
- 会費納入は 12 月末が期限です  
ご協力よろしくお願ひいたします → 8 ページ

## 目 次

- お知らせ
  - 2023 年度日本植物分類学会講演会のお知らせ . . . . . 2
  - 日本植物分類学会第 23 回大会（仙台大会）および総会のご案内 . . . . . 4
  - 会費納入のお願い . . . . . 8
- 会員消息 . . . . . 8

# お知らせ

## 2023 年度日本植物分類学会講演会のお知らせ

講演会担当委員 高山 浩司

2023 年度の日本植物分類学会講演会を大阪学院大学とオンライン配信のハイブリッド形式で開催いたします。講演会場は十分な広がりがありますので（定員 288 名の階段教室）、皆様お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。なお、日本植物分類学会非会員の方でもご参加いただけます。

現地もしくはオンライン参加に関わらず、以下のサイトからの事前登録にご協力ください。参加登録後、オンライン参加用の URL (Zoom) が自動でご登録のメールアドレスに送信されます。メールの返信が届かない場合は、ご登録のメールアドレスに誤りがある可能性があります。再度ご登録するか、講演会担当者（高山：takayama@sys.bot.kyoto-u.ac.jp）までご連絡ください。参加者多数の場合は、早期に受付を締め切らせていただく場合がございます。

新型コロナウイルスの影響等により、会場での開催が中止となる場合には、オンラインのみでの開催となります。開催方法が変更になる場合は、登録メールアドレスに 2023 年 12 月 7 日までに連絡をいたします。

参加登録：<https://forms.gle/WYjdkzZLEgrou2xGA>

日時：2023 年 12 月 9 日（土）午前 10 時～午後 5 時 00 分  
講演会場：大阪学院大学 2 号館地下 1 階 2 号教室（02-B1-02 教室）  
〒564-8511 大阪府吹田市岸部南 2 丁目 36 番 1 号（電話：06-6381-8434）



### 講演スケジュールと演題

10:00-10:10 ご挨拶 村上 哲明（会長）

10:10-11:00 佐藤 博俊（京都大学）「ハラタケ綱菌類の種多様性の起源」

11:00-11:50 山尾 僚（京都大学）「身近な雑草から探る植物の柔軟な生きざま」

(11:50-13:20 昼食)

13:20-14:10 渡邊 誠太（大阪公立大学）「ユリ属は面白い！ - 系統分類からわかったこと -」

14:20-15:10 廣田 峻（大阪公立大学）「東アジアで多様化したキスゲ属」

(15:10-15:20 休憩)

15:10-16:00 村上 哲明（東京都立大学）「牧野富太郎博士が遺した植物標本と日本の植物分類学への貢献」

16:00-16:50 岡崎 純子（大阪教育大学）「島嶼環境に直面した広域分布種の送粉生態型分化」

16:50-17:00 ご挨拶 林 一彦

17:10- 懇親会

### 【講演会場】

大阪学院大学 2 号館地下 1 階 2 号教室（02-B1-02 教室）  
〒564-8511 大阪府吹田市岸部南 2 丁目 36 番 1 号（電話：06-6381-8434）

## 【会場までのアクセス】

JR 東海道本線岸辺駅、阪急京都線正雀駅から大阪学院大学までともに徒歩 5 分。  
交通アクセス <http://www.osaka-gu.ac.jp/guide/campus/access.html>,  
キャンパスマップ <http://www.osaka-gu.ac.jp/guide/campus/index.html>

## 【参加費】

講演会への参加は無料です。

## 【懇親会】

講演会終了後、大阪学院大学職員食堂(17号1階)で懇親会を行います。懇親会の参加費は4,000円(院生・学部学生には割引あり)です。参加登録のwebフォームで、参加希望に関するアンケートにご協力ください。なお、アンケートの回答に関わらず当日参加も可能です。

## 【講演要旨】

「ハラタケ綱菌類の種多様性の起源」

佐藤 博俊 (京都大学)

いわゆるキノコ類で主に構成される担子菌ハラタケ綱は、陸上生態系に広く適応し、種多様性の高い菌群として知られる。本研究では、分子系統学的なアプローチを用いて、ハラタケ綱菌類の種多様化の進化的起源を調べた。解析の結果、ハラタケ綱菌類の急速な種多様化は、白亜紀後期に5つの系統群で同時並列的に起きたことが示された。また、種多様化の生じた時期は、5つの菌群が外生菌根性(樹木との根系での相利共生関係)を獲得した時期とほぼ完全に一致した。以上の結果から、ハラタケ綱菌類は、白亜紀後期に出現したブナ目など外生菌根性の被子植物と共進化して外生菌根性を獲得したことがきっかけで、急速な種多様化を果たしたという可能性が浮かび上がってきた。

「身近な雑草から探る植物の柔軟な生きざま」

山尾 僚 (京都大学)

街中や野山で何気なくみかける植物たち。ただ静かにそこに生えているだけのように思える。しかし、植物たちは刻々と変化する様々な環境に対して、密かに、そしてダイナミックに反応している。演者は、身近な植物であるヤブガラシやオオバコを用いた実験から、植物が自己・非自己や他個体の遺伝的類似性を識別し、多種多様な応答を示すことを明らかにしてきた。本講演では、演者の研究と共に植物の環境応答の多様性について紹介し、植物が備える多様な他個体認識システムについて考えてみたい。

「ユリ属は面白い！ - 系統分類からわかったこと -」

渡邊 誠太 (大阪公立大学)

ユリ属は、ユリ科の多年生草本で、北半球に約117種が分布する。野生種でも華やかな花をつけ、花の形、色、咲く向きなど実に多様である。その美しさもあり、ユリ属は分類学者だけではなく、園芸家によっても分類研究が行われてきた。しかし、その“わかりやすさ”とは逆に、ユリ属の分類は混乱してきた。今回は、その歴史を振り返りつつ、新たに提唱した節(=属内分類の一つ)認識や、そこから明らかになった興味深いことについて紹介する。また、東アジアのユリ属については、まだ分類学的問題が山積しており、特に観賞価値が高く、古くから注目されてきた日本産ユリ属の研究についてもお話したい。

「東アジアで多様化したキスゲ属」

廣田 峻 (大阪公立大学)

被子植物の多くは送粉者と呼ばれる動物によって花粉を運ばれる。そのため、花は訪花する送粉者の特徴に合わせて、効率的な誘引と花粉の受け渡しができるよう自然選択を受けてきた。そして、異なる送粉者に適応することは花形質の分化と生殖隔離の両方をもたらす、種分化に繋がると考えられる。キスゲ属には、アゲハチヨウやハナバチ、スズメガなどの送粉者を利用する種が含まれ、それぞれ花色や開花時間などの花形質が異なる。そのため、キスゲ属は送粉者との相互作用を介した種分化の研究に理想的な材料である。本講演では、東アジア各地から採集したサンプルを用いた分子系統解析や、送粉者を用いた訪花実験など最新の研究成果をもとに、キスゲ属の種分化について紹介したい。

「牧野富太郎博士が遺した植物標本と日本の植物分類学への貢献」  
村上 哲明（東京都立大学）

NHKの朝ドラマ「らんまん」の主人公モデルでもあった故牧野富太郎博士は、明治～昭和にかけて、日本各地で植物標本を網羅的に採集された。その多くが今から100年以上前に採集された博士の標本は学術的にとても貴重なものである。博士の標本は絵画のように美しく作られていて、鑑賞にも十分堪えるものであることは特筆すべきである。また、博士は熱心に植物愛好家の指導・育成をされた。これが現在、日本各地に植物研究会があり、多数のノンプロの植物研究家がいらっしやることに繋がっている。このことは、1,500もの日本の植物に学名を着けて発表したことに匹敵する、牧野博士の植物分類学への大きな貢献である。博士の遺された植物標本とその貢献についてご紹介したい。

「島嶼環境に直面した広域分布種の送粉生態型分化」  
岡崎 純子（大阪教育大学）

種分化研究において島嶼環境は繁殖特性の進化要因の解明に適した場所となっている。特に伊豆諸島は海洋島でありながら本土に比較的近く、固有種や固有変種群を用いた自殖性進化の良い研究がされてきた島嶼である。日本列島において多様な環境に生育する広域分布種達は、たとえ島嶼で明瞭な形態的分化がみられない種群であっても、その侵入・定着の過程では種子分散や花粉分散といった遺伝子流動の制約に直面し、それに適応してきた歴史を持っている。特に外交配植物にとって花粉分散に関わる訪花昆虫相の変化は子孫を残すためには重大な問題であり、送粉生態型分化を起している場合がある。本講演では広域分布種ツリガネニンジン（キキョウ科）が伊豆諸島で夜から昼へと利用する訪花昆虫をシフトさせ、これに対応した繁殖特性をもった送粉生態型の分化について得られた知見を紹介したい。

【問い合わせ先】

電話：075-753-4131（授業等で不在の場合があります。ご容赦ください。）メール：takayama.at.sys.bot.kyoto-u.ac.jp（atを@に置換してください）

## 日本植物分類学会第23回大会（仙台大会）および 総会のご案内

第23回大会会長 牧 雅之

日本植物分類学会第23回大会を、2024年3月8～12日に全面対面方式で開催いたします。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

【発表会場】

- 東北大学片平キャンパス「片平さくらホール」（仙台市青葉区片平二丁目1-1）
- 1階ラウンジ：ポスター発表
- 2階会議室：口頭発表、総会、授賞式、受賞記念講演、公開シンポジウム

【各種委員会会場】

- 東北大学植物園（仙台市青葉区川内12-2）
- 津田記念館会議室：編集委員会
- 本館講義室：評議委員会

【日程】

2024年3月8日（金）～3月12日（火）

3月8日（金）午後：編集委員会・評議委員会

3月9日（土）午後：公開シンポジウム・ポスター発表（大会発表賞）、ミキサー

3月10日（日）口頭発表（大会発表賞・一般）

3月11日（月）ポスター発表（一般）、口頭発表（一般）、総会・授賞式・受賞記念講演・懇親会

3月12日（火）口頭発表（一般）

## 【第 23 回大会 Web ページ】

<https://sites.google.com/view/jsps23>

発表・参加申込および発表要旨提出の方法や大会プログラムなどを、随時アップロードいたします。

## 【問合わせ先】

〒980-0862 仙台市青葉区川内 12-2 東北大学植物園内

日本植物分類学会第 23 回大会実行委員会

E-mail: jsps2024sendai@gmail.com

お問い合わせの際は、電子メールをお使いください。メールのタイトルは「大会問合わせ」として下さい。なお、**電話での問合わせ受付は一切いたしません。**必要があれば、郵便で余裕をもってお問い合わせ下さい。

## 【発表・参加申込方法】

2023 年 12 月から大会 Web ページに申込窓口（Google フォーム）を作成いたします。

本大会では郵送による申込を実施いたしません。インターネットをご利用できない方は、**郵便にて 2023 年 12 月 25 日までに大会実行委員会にご相談ください**（それ以降はご対応しかねる場合があります）。

大会には日本植物分類学会会員・非会員を問わずご参加いただけますが、口頭発表およびポスター発表の演者（実際に発表する方）は、大会実行委員会から依頼した場合を除き、会員に限りです。非会員の演者（実際に発表する方）は、申込と同時に日本植物分類学会への入会手続きをお願いします。

## 【大会参加・発表申込の〆切日】

- 1) 演者（実際に発表する方）：発表・参加申込 / 大会・懇親会参加費振込  
2024 年 1 月 19 日（金）
- 2) 演者以外；参加申込 / 大会・懇親会参加費振込  
2024 年 1 月 26 日（金）  
1 月 27 日（土）以降は振込をせず、当日参加をご利用下さい。

## 【大会発表賞のエントリー】

大会発表賞にエントリーができるのは、パーマメントポストに就いていない日本植物分類学会員（年齢制限はありません）で、筆頭発表者かつ演者（実際に発表する方）本人に限りです。大会発表賞にエントリーされる方は、発表・参加申込の際に Google フォーム上の項目に従って選択して下さい。

## 【発表要旨の提出】

発表要旨は「要旨提出フォーム」へ記入していただきます。2024 年 1 月 19 日以降、発表申込者にメールで「要旨提出フォーム」へのリンクおよび要旨のひな型等をお知らせします。

**締め切り：2024 年 1 月 26 日（金）24:00**

## 【参加費】

- 1) 大会参加費（発表要旨集 1 冊代金を含む）
  - i) 事前申込（2024 年 1 月 26 日までの振込）一般 5,000 円、学生 2,500 円
  - ii) 当日参加申込 一般 6,000 円 学生 3,500 円
- 2) 懇親会参加費
  - i) 事前申込（2024 年 1 月 26 日までの振込）一般 8,000 円、学生 4,000 円
  - ii) 当日参加申込 一般 9,000 円 学生 5,000 円
- 3) 寄付の受付  
今回、初の試みとしてご寄付を受け付けたいと考えております。ご寄付いただいた分については、ミキサー（下記）の飲み物・スナック代に使用するほか、懇親会の補助などに使用させていただくことを想定しています。1 口 1,000 円として、口数をご記入の上、参加費と同じ振込書にてお振込をお願いします。
- 4) 要旨集のみ 1 冊 1,000 円



## 5) キャンセルポリシー

原則として、事前参加申込の締め切り（1月26日）以降のキャンセルに対しては、返金いたしません。

## 【参加費送金先】

郵便振替口座番号：00170-3-767949

口座名義：日本植物分類学会大会実行委員会

本ニュースレターに同封した振込用紙もしくは郵便局に備え付けの振込用紙にて、振替金額の内訳（大会参加費、懇親会費、ご寄付金額、要旨集のみの代金）を通信欄にご記入の上、ご送金下さい（振込手数料はご自身でご負担下さい）。振込者と参加者は同一にしてください。参加申込の際に、振込日と振込郵便局をご入力いただきますので、「必ず」振込を終えてから参加申込をして下さい。

銀行等から振り込み場合は、ゆうちょ銀行の受取口座として下記内容をご指定下さい。

店名（店番）：〇一九（ゼロイチキョウ）店（019）預金種目：当座 口座番号：0767949

## 【懇親会】

TKP ガーデンシティ仙台（仙台市青葉区中央 1-3-1 AER 内）

## 【ミキサー】

久しぶりの対面による開催であることから、3月9日（土）のポスター発表（大会発表賞）後に、ビールやソフトドリンクとスナックを用意して、ミキサーを行うことを計画しています。親睦の場としてだけでなく、ポスター発表の延長戦として、議論を深めていただく機会としていただければ幸いです。

## 【昼食】

大会準備委員会による、お弁当の準備はいたしません。3月10日と3月11日は、「さくらキッチン」（片平キャンパス北門わき）が利用できます。片平キャンパス周辺には飲食店が多数あるほか、コンビニエンスストアもありますので、Google マップなどをご参照のうえ、ご利用下さい。

## 【公開シンポジウム】

「植物の新種発見ものがたり：日本の植物相はまだ未解明？（仮題）」といったタイトルで、国内で植物の新種を実際に発見された方に、そこに至る経緯を含めて、ご紹介いただく予定で、一般公開、参加無料です。詳細については、大会 Web ページでお知らせいたします。

## 【発表の要領】

1. ポスター：ポスターパネルに貼り付け可能なポスターのサイズは900mm（横）x 1500mm（縦）です。貼り付けのためのピンなどは、会場に用意します。ポスターの貼り付け・取り外し時間については、プログラムにてお知らせいたします。
2. 口頭発表：発表時間は、講演12分、質疑応答3分の計15分です。ただし、次の発表者への交代をスムーズにするために、14分30秒で終鈴を鳴らします。終鈴が鳴りましたら、次の方への交代をお願いいたします。ご使用いただくパソコンなどについては、大会 Web ページおよびプログラムでお知らせします。
3. 発表資料の作成：バリアフリー・プレゼンテーションに関するサイトをぜひ参考にして下さい。（例：<https://tsutawarudesign.com/universall.html>）。
4. 大会実行委員会からのお願い：例年、多数の方が口頭発表を希望されますが、大会スケジュールの関係で、全員のご希望に添えない可能性があります。口頭発表を希望される方は、発表申込のフォームで、可能な限り「口頭発表・ポスターのどちらでも良い（できれば口頭発表を希望する）」を、ご選択下さい。どちらでご発表いただくかの決定は、大会実行委員会にご一任下さい（先着順とはしません）。また、特段の事情がない限り、プログラム確定後の口頭発表のキャンセルはお控えください。とくに、大会発表賞エントリーをされる学生会員の皆さんは、指導教員とよく相談のうえ、発表見込みで申込をすることのないようお願いいたします。

**【託児について】**

託児室の開設は予定しておりませんが、ご希望がありましたら、12月中に大会実行委員会にお知らせ下さい。複数のご希望者がおられる場合には、開設を検討いたします。

**【宿泊施設】**

本大会では宿泊場所の斡旋は行いません。仙台市内には多数の宿泊施設がありますが、土日は観光客が多く、直前では予約が取りにくくなります。早めに各自で宿泊場所を確保されることをお勧めいたします。

**【大会会場へのアクセス】**

東北大学植物園（委員会会場）は仙台市営地下鉄東西線川内駅から徒歩5分ほど、片平さくらホール（発表・総会会場）は仙台市営地下鉄東西線青葉通一番町駅から徒歩10分ほどです。TKPガーデンシティ仙台（懇親会会場）は、JR仙台駅に隣接しています。詳細は、大会Webページおよびプログラムでお知らせします。

